

木屋小学校で『避難所運営訓練HUG』を実施しました！

日時：2016年11月27日（日）10：00～12：00

場所：寝屋川市立木屋小学校 体育館

主催：寝屋川市立木屋小学校自主防災会,摂南大学理工学部建築防災研究室

協力：寝屋川市

参加者：木屋小学校区（7自治会10班、消防団1班）

ファシリテーター：建築学科生14名+大学院生1名+教職員2名（計17名）

今回の見どころ

2014年度に本学寝屋川キャンパスの隣接町である太間町・太間東町の方々と避難所運営訓練HUG(ハグ)を実施しました。HUG(ハグ)とは、静岡県が開発した避難者運営シミュレーションゲームで、各地で図上訓練として実施されています。今回は木屋小学校区7自治会と消防団の方々に参加して頂き、地震災害時に実際の避難所となる寝屋川市立木屋小学校の図面を使用して、避難所開設から運営までの図上訓練を行いました。

プログラム実施風景



摂南大学生から趣旨説明をしました。緊張していましたが、練習のかいありうまく伝えることができたと思います。



皆さんで意見を出し合いながら避難者を振り分けています。意見が多くて戸惑う場面も…。



後半につれて意見もまとまり、自然に役割分担もされスムーズになっていきました。



終了後、各班図面を見直して、この配置は良かった、こうしたら良かったなど振り返りました。



避難者の配置場所やペット配置については屋外や屋内など意見を出し合っていました。



最後に、災害時に避難所で必要な薬を探すことの出来るアプリケーションを紹介しました。

プログラムの実施結果

今回、私たち3年生が主体となり、HUGを実施しました。準備段階で3年生のまとまりはなく、人任せになっていたりして作業が進みませんでした。本番が近づき焦りと共に団結力が増し、無事に終わる事ができました。また、先輩方の手助けや木屋小学校区自治体の皆さんのチームワークにも助けて頂きました。最後に参加者の方から「避難所を運営する側と避難者側のコミュニケーションも大切」との感想があり、今後は、運営側の目線だけでなく、避難者側の目線にもなって避難所を運営することができるのか…が重要だと私は思いました。

ご参加頂いた木屋小学校区の皆様、ありがとうございました。最後に頂いたパン！おいしかったです。